

大学コンソーシアム関門だより

関門地域の大学と連携して、高等教育の充実や学生の交流に取り組む「大学コンソーシアム関門」に本学も参加しています。

この取組では、他大学の科目を受講して単位が修得できる単位互換制度を導入しています。

また、授業以外にも、学生交流事業、教職員のFD・SD事業等に取り組んでいます。

●参加大学(6大学)

北九州市側：北九州市立大学、九州共立大学、九州国際大学、西日本工業大学
下関市側：下関市立大学、梅光学院大学 (五十音順)



今年度、本学からはキャリア関係の科目を提供し、北九州市内及び近郊の企業を集中的に訪問するという、貴重な体験の場を提供することができました。

- 科目名：「北九州市の工場見学を通して、ものづくりと環境について学ぶ(産学公連携講座)」
- 期間：8月25日(月)～28日(木)
- 担当教員：見館好隆(キャリアセンター准教授)

ご協力いただいた企業(見学先)

新日鐵住金(株)八幡製鉄所、(株)安川電機、TOTO(株)第一工場、シャボン玉石けん(株)、日産自動車九州(株)、北九州エコタウン、サンアークTOTO(株)等(順不同、敬称略)

トピックス

國武 豊喜本学名誉教授が文化勲章を受章

本学名誉教授であり、元副学長の國武 豊喜(くにたけとよき)氏(現：公益財団法人北九州産業学術推進機構理事長)が平成26年度文化勲章を受章しました。

國武氏は、平成11年4月北九州大学(現：北九州市立大学)に着任し、国際環境工学部設置準備室長を務められ、国際環境工学部設置にご尽力いただきました。

また平成13年4月から平成20年3月まで本学副学長(産学連携及びひびきのキャンパス担当)を務められ、平成20年4月には、本学名誉教授の称号を授与されています。

國武氏の主な研究業績は、分子組織化学の分野において、特殊な分子構造を持つ生体脂質によってのみ得られ

ると従来考えられていた生体膜の基本構造である二分子膜組織体について、生体脂質に関連しない人工の物質から、安定な二分子膜が形成されることを世界で初めて発見しました。

この発見により、現代化学の最も重要な領域である分子組織化学を開拓するとともに、新たな分子組織材料の形成手法の開拓に取り組むなど、斯学の発展に多大な貢献をしています。

また、最近では長年望まれていた自立性のあるナノ薄膜を初めて実現し、燃料電池の電解質膜や高機能分離膜としての利用が期待されています。



平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」に採択されました

北九州市立大学は、文部科学省が公募した平成26年度「大学教育再生加速プログラム」(Acceleration Program for University Education Rebuilding : AP)に採択されました。

文部科学省が設定した基準を、自らが改革した大学であることが申請条件のもと、国公私立大学・短期大学・高専から3テーマで250件の申請があり、合計46件が採択されています。

このプログラムは、文部科学省が、国として進めるべき大学教育改革を推進するために、教育再生実行会議等で示された、新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学等を支援することを目的に、平成26年度より実施される新たな事業です。

本学は、平成26年5月にテーマII「学修成果の可視化」で申請をし、厳正な審査を経て採択されました。

本学はこのプログラムに基づいて、豊かな未来に向けた開拓精神に溢れる人材の育成と大学における教育改革のモデルとして教育の質の保証と向上をさらに目指します。



第3期北九大魅力発信プロジェクトがスタートしました

北九州市立大学の在学生が本学のPR等を行う、北九大魅力発信プロジェクトの第3期メンバーが決定しました。その新メンバーに対し、10/27(月)に北方キャンパス本館学長室にて任命式を行いました。

北方キャンパスのメンバー出席者9名と、ひびきのキャンパスの代表者が、学長より直接辞令を受け取りました。任命されたメンバーは、北九州市立大学を訪れた高校生やPTAの方にキャンパスツアーやパネルディスカッションなどを実施していくことはもちろん、第3期では、創立70周年に向けたグッズ作成などの取り組みにも積極的に関わっていく予定です!

「北九大魅力発信プロジェクト」PR大使をよろしくお願ひします!



青嵐

題字：阿南 惟正 前理事長筆

The University of Kitakyushu Information seiran Vol.37



北九州市立大学は、平成28年に創立70周年を迎えます

特集① 創立70周年記念事業の概要

特集② 始動! 大学ブランディング

- ▶青嵐祭&響嵐祭レポート
- ▶北九州グローバルバイオニア海外インターンシップ体験談
- ▶科目等履修生制度のご紹介
- ▶産学連携フェア開催について
- ▶大学コンソーシアム関門だより
- ▶トピックス

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

学報 | 発行日/2014年12月3日
発行元/北九州市立大学広報入試課

創立70周年記念事業の概要

〈事業期間〉平成27年4月1日～平成29年3月31日(2年間)

公立大学法人北九州市立大学は、平成28年に創立70周年を迎えます。

昭和21年(1946)に旧小倉市が創設した小倉外事専門学校を前身とし、北九州外国語大学への昇格、北九州大学への改称を経て、現在の北九州市立大学へと歩みを進めてきました。

現在では、外国語学部、経済学部、文学部、法学部、国際環境工学部の5学部と平成21年4月に開設した地域創生学群、さらには大学院4研究科を持つ、九州を代表する公立大学となるまでに発展いたしました。「北方」「ひびきの」の2つのキャンパスの他、社会人学生のための小倉サテライトキャンパスを擁し、約6,500人の学生が日々勉学に励み、実りある学生生活を送っております。

これもひとえに、5万人を超える卒業生の皆様の温かい愛校心と、設置者である北九州市や多くの関係の皆様の惜しみないご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

記念すべき70周年を迎えるにあたっては、同窓会や後援会、北九州市民の皆様とも一体となって、本学が目指す「地域」、「世界(地球)」、「環境」という3つのビジョンのもとに、30年先(創立100周年)の未来へ向かって、地域にしっかりと根差しつつ、世界に活躍のフィールドを広げ、持続可能な環境共生社会の実現に向けて大きく羽ばたけるよう、全力をあげて取り組んでいきます。

事業一覧

施設整備

- | | |
|----------------|-------------|
| <北方キャンパス> | <ひびきのキャンパス> |
| ・新図書館の建設 | ・環境技術研究所の充実 |
| ・(仮称)国際交流施設の整備 | ・サークル棟の整備 |
| ・サークル会館の改修 | |
| ・厚生会館(食堂)の改修 | |

記念行事の開催

- ・記念式典、講演会、祝賀会の開催
- ・ひびきのキャンパス開設15周年記念事業の開催
- ・第3回アジア未来会議の開催
- ・その他各種イベントの開催

記念誌等の発行

- ・記念誌の発行
- ・「シリーズ 北九大の挑戦」の発行
- ・記念論文集の発行

主な事業内容

新図書館建設

コンセプト～「世界の環境首都」北九州市にふさわしい新図書館～

新図書館は、現在の図書館に連結する形で、平成28年4月に開館予定です。新図書館は、地上4階建て、約3,840㎡で、1階部分には、学生の自主的・共同的な学修の場として、ラーニング・コモンズを整備します。

また、環境配慮技術を取り入れ、ECO図書館として消費エネルギーを抑える“低炭素図書館”の実現を目指します。

蔵書スペースにおいても、現在の約57万冊から約72万冊まで拡大でき、より多くの蔵書を開覧することが可能となります。

図書館は、本学の学生はもちろんのこと、これまでどおり市民の方も利用できます。



学生の福利厚生の充実

学生の福利厚生を目的とした施設整備などを行っていきます。

北方キャンパスでは、老朽化したサークル会館や、主に食堂として利用されている厚生会館の改修を行い、利便性の向上を図ります。

一方、ひびきのキャンパスでは、サークル活動の活発化により不足しているサークルの部室を充足させるため、新たにサークル棟を整備します。



「記念誌」「シリーズ 北九大の挑戦」の発行

「記念誌」は、50周年後の本学の歩みや70周年記念事業の内容をまとめ、平成29年度に発行予定です。

「シリーズ 北九大の挑戦」は、本学が取り組んだ改革事例をテーマごとに取り上げるシリーズで、平成26～28年度にかけて全5巻を刊行予定です。大学関係者だけでなく、高校生、保護者、高校教員をはじめとする多くの人々に向けて発信します。平成26年6月に刊行された第1巻「学生サポート大作戦-寄りそう学生支援-」は、教職員一丸となって取り組んだ「学生支援」をテーマとした奮闘記です。今後は、地域創生学群、FD事業、大講堂、地域貢献の取り組みなどを順次発刊予定です。



アジア未来会議の開催

アジア未来会議は、第1回目が平成25年にタイのバンコクで、第2回が平成26年にインドネシアのバリ島で開催されました。第3回は、平成28年9月に北九州市で開催予定であり、日本では初の開催となります。

アジア未来会議では、アジアを中心とした世界各国から日本に関心のある若手・中堅の研究者約20カ国・約350人、総勢約1,000人が集結し、社会科学や日本研究など4つの分野において、研究発表やディスカッションが行われます。現在、本学は、主催である公益財団法人渡米国際交流財団とともに、会議開催の準備を進めているところです。



始動! 大学ブランディング

— 30年後のネクストステージへ向けて —

ビジョンロゴマークを策定

平成23年度、北九州市立大学では、大学の認知度向上を進めるため、学長をリーダーとした学内のプロジェクト組織を立ち上げ、これまでブランディングやデザインの専門家なども交えつつ、大学の強みやビジョンについての検討を進めてきました。その中では、教職員をはじめ後援会、同窓会、高校、企業など大学に関わる様々な方々に対し、大学の長所やイメージ、また今後大学に期待する方向性等について、アンケート調査を実施し、貴重なご意見を反映させていただいています。本年2月には、これからの大学を担っていく若手の教員と事務職員を中心としたワーキンググループ(WG)を設置し、この先の30年を目指した将来ビジョンやこれを象徴するビジョンロゴマークについて自由闊達に意見交換を行いました。これまでに月に1回程度、WGを開催しています。このWGは、本学では初めての本格的な教職協働のプロジェクトです。回を重ねるごとに、教員と職員との壁がなくなっていく、毎回、とてもリラックスした雰囲気のもと、大学の将来を熱く語り合う場となっています。

創立70周年関連事業とも連携を図り、今後、本ビジョンロゴマークを活用しながら、大学に関する情報を積極的に発信していきます。



教職員の垣根なく進む熱い議論



模造紙を囲み大学の将来を考えます

ビジョンロゴマークに込められた意味

- 木** は、大学自体はもとより学生・教職員を表し、命を宿し自ら成長していくシンボルとして具現化。“環境未来都市”北九州市にある公立大学であることをアピールしています。
- 根** は、大きく円形に伸び上がり、地域に根ざしつつ、世界(地球)への展開を表しています。
- 幹** は、しっかりと、そしてまっすぐに上へ伸びていく形から、未来や希望に向かって進んでいく意志の強さやたくましさ、誠実さを表しています。
- 枝葉** は、大学から生み出される多くの研究開発・人材育成等の成果を表しています。

■ 木をモチーフに、未来に向かって、自ら成長する意志をシンボル化

ビジョンロゴマークは、これから30年先(創立100周年)の未来へ向かって、地域に根ざし、世界に活躍のフィールドを広げ、地球規模のエネルギー・公害問題克服・生命など持続可能な環境共生社会の実現に向けて自ら成長していくシンボルとして、木をモチーフに具現化しました。キーワードは次の3つです。

- 「地域」と歩む** 自ら地域にかかわり、地域の力を集め、地域社会の発展と豊かな未来を築く
- 「環境」を育む** 環境都市「北九州市」の一員として、エネルギー・公害問題克服・生命など世界に誇る持続可能な環境共生社会の実現に貢献する
- 「世界(地球)」とつながる** 時代の先を見据え、世界(地球)を視野に開拓者精神を持って力強く羽ばたく

※詳しくは本学HP特設サイトをご覧ください。
<http://vision.kitakyu-u.ac.jp>

第3回北九州グローバルパイオニア シンポジウムを開催します。 日時:平成26年12月20日(土) 14:00～17:00(開場 13:45) 会場:リーガロイヤルホテル小倉3階(エンパイアルーム)

北九大でKGPNしなくちゃ!

大学ランキング「海外留学制度」で九州No.1*の北九州市立大学は、世界を視野に幅広い教養と語学力の習得を目的とした教育プログラムKitakyushu Global Pioneersを展開しています。*朝日新聞出版「大学ランキング2015年版」より

第1部 基調講演

テーマ:いかに世界をホームにしたか
～日本人として世界で活躍するには～
講師:杉山 愛氏
(元プロテニスプレーヤー/スポーツキャスター)

第2部 グローバルな夢を語ろう

高校生・本学学生による
英語プレゼンテーション

入場無料
(定員200名)
受付先着順!

お問い合わせ先
北九州市立大学 国際化推進室 シンポジウム担当 TEL.093-964-4318
(受付時間 8:30～17:15 土日・祝日を除く)

お申し込み方法・定員
住所、氏名、連絡先を明記のうえ、Eメールにてお申込みください。
Eメール:kgp@break-net.com 申込み締切:12月17日(水)まで

本学ホームページにて
特設サイトを開設予定です

北九州市立大学創立70周年記念事業募金を開始します

募集期間 平成26年12月21日～平成29年3月31日 ホームページ <http://www.kitakyu-u.ac.jp/> ※詳しい内容は平成26年12月21日以降の本学HPをご確認ください。

青嵐祭 & 響嵐祭レポート

北九州市立大生のひたむきな情熱とパワーに感動の連続!

秋の恒例イベント「2014年北九州市立大学大学祭」が、北方キャンパス及びひびきのキャンパスで盛大に行われました。北方キャンパスの「青嵐祭」は、11月1日(土)から3日(月・祝)までの3日間にわたり開催されました。期間中は、学生主体の模擬店や趣向を凝らしたステージイベント、文化系サークルの活動発表を中心とする教室企画、感動のよさこい公演など多彩な催しが行われ、大いに盛り上がっていました。一方、ひびきのキャンパスの「響嵐祭」は、11月8日(土)・9日(日)の2日間にわたって開催されました。今年は、ステージイベントに地域の子どもたちに出演してもらうなど、地域に密着した企画を展開。おもしろ科学実験やセグウェイ試乗会など、国際環境工学部の個性を生かした催しも数多く行われました。両キャンパスとも、大勢の市民がキャンパスを訪れ、秋の祭りを満喫。学生、教職員、地域住民が一体となった本学ならではの祭りの魅力が感じられました。



第68回 青嵐祭

テーマ
夢眩(むげん)～終わらない物語(ストーリー)～

日時
平成26年11月1日(土)～3日(月・祝)

来場者数
約18,600人(昨年は約17,000人)

主な催し
Dance ～Turn up the music
よさこい公演～疾風乱舞～
Quiz Hunter 2014
The man of the men～ミスターコン2014～
シンデレラコレクション～ミスコンin北九～
トンネルの向こうで…(お化け屋敷)
依布サラサ トークショー
爆笑☆青嵐お笑いライブ2014★
ロッチ、おりがみ、土居上野 など

教室企画
アカベラライブ(アカベラの森)、学祭寄席(落語研究会)
放研ステレオコンサート(放送研究会)、華道展(華道部)
ピアノ演奏会(ピアノ会) など17企画

模擬店数
柔道部(オムソバ)、SF研究会(ワッフル・おしるこ・ジュース)
ラクロス部(小籠包)、合馬まちづくりプロジェクト(笑竹梅餃子)
など125店舗(3日間トータル)

大学祭実行委員会メンバー数 132名

第12回 響嵐祭

テーマ
～新たなる時計(とき)の始まり～

日時
平成26年11月8日(土)・9日(日)

来場者数
約13,000人(昨年は約12,000人)

主な催し
お化け屋敷、ビンゴ大会、
Kids Performance、ひびきの総選挙
お笑いライブ
COWCOW、メガモッツ、パンサー、
チーモンチョーチュウ
セグウェイ試乗会、おもしろ科学実験 など

デコレーション企画
廃油でキャンドル、光のオブジェ、
ペットボトルアート、階段アート など

模擬店数
学生フォーミュラ(スープ)、バリ坊's(フランクフルト)
情報3年(揚げアイス)、建築M2(コーヒー)
櫻井・秋葉研究室(タイ焼き)、
タコスロール杏(タコス)など49店舗

大学祭実行委員会メンバー数 188名

北九州市立大学大学祭 実行委員長へのQ&A

素晴らしい思い出をありがとう!
1年間お疲れ様でした!

大学祭をすべて取り仕切る線の下の力持ち、それが大学祭実行委員会。北方キャンパスとひびきのキャンパス、それぞれのキャンパスで活躍した委員長にお話を伺いました。



第68回青嵐祭実行委員長
経済学部 経営情報学科 3年
塩塚 元気さん



第12回響嵐祭実行委員長
国際環境工学部 環境生命工学科 3年
高橋 尚生さん

Q1 大学祭をやり遂げた今の感想は?

塩塚さん:大きな達成感を感じています。先輩や同級生、そして後輩たちと感動を分かちあえることができ、とてもうれしく思っています。

高橋さん:終わったという実感がなく、「今日も実行委員会の会合に行かなければ!」という感覚です。もう実行委員会メンバーの前で話すことがないと寂しい気がします。

Q2 今回、盛り上がった企画は?

塩塚さん:今年初挑戦した「サプライズ企画」です。会場全体が一つになって盛り上がりました。ミスコン、ミスターコンも例年同様の盛り上がりを見せました。

高橋さん:地域の幼稚園児による歌と踊りのステージです。小さな子どもたちは何をしても可愛いですし、保護者の方々もたくさん来場していただき大変盛り上がりしました。

Q3 心配だったこと、辛かったこと、苦労したところは?

塩塚さん:青嵐祭は今年で68回目という長い歴史を誇る祭りです。これまでの伝統を絶やさず、無事来年に繋げられるか、それが心配でした。辛かったのは、3年生が3人だけしかいないということ。相談できる同学年メンバーが2人というのがきつかったですね。

高橋さん:昨年までは「北九州学術研究都市ひびきの祭」として、北九州産業学術推進機構との共催でしたが、今年からは北九州市立大学ひびきのキャンパス単独の祭となりました。ゼロから新しいイベントとして、全てを構築しなければならなかったこと、これが一番苦労した点です。

Q4 大学祭実行委員会に入ったそもその理由は?

塩塚さん:1年生の時に勧誘してくれた先輩に魅かれ入りました。友達が入っていたのも大きな理由です。

高橋さん:ひびきのキャンパスの大学祭実行委員会は人数が多く、見ていて楽しそうだなと思ったのがきっかけです。もともとお祭り好きな性格というのも理由の一つです。

Q5 実行委員長としての活動を通じて感じたことや得たものは?

塩塚さん:委員長としての責任の重さを感じました。そして、活動を通じて自分の視野を広げることができました。これから先、余程のことがない限り、百数十人の上に立つということはないでしょう。自分にとっては非常に貴重な経験を積むことができたと思っています。

高橋さん:委員長になった最初の頃、「リーダーとは、ついてくるメンバーたちに方向性を示す存在である」と思っていました。しかし実際は「ついてこさせるために、いかにやる気を起こさせるか」「どうやったらみんなが活動に来るか」ということから考え、企画・準備を始めなければならないということを知りました。

Q6 これから大学祭実行委員会を支える後輩のみなさんにメッセージを!

塩塚さん:1年間の活動の中で、きつくて辞めたいと思う時期もありましたが、大学祭当日を迎え、すべての行事を終えた瞬間、「やってよかった」と率直に感じました。それは、メンバー全員が感じたことだと思います。「苦労は報われる」。そのことを後輩たちに伝えたいですね。

高橋さん:響嵐祭は歴史が浅く、まだまだ発展途上のイベントです。だから後輩たちには、もっと面白い企画にチャレンジしてほしいですね。また、学生だけの盛り上がりだけではなく、誰にでも来てもらえるような祭りにしてほしいと思います。

北方キャンパス アコースティックギター部

サークルについて

私たちアコースティックギター部は、1年生から4年生まで、総勢70名ほどで活動しています。部の活動に特に決まった時間や内容はありません。それぞれ好きな時間に、好きなことを行っている部活です。ギターを真剣に弾くことが好きな人、ただ居場所を求めに来る人、いろんな種類の人たちが集まった、「お好み焼き」のような部活です。ギターをまったく触ったことのない人も気軽に、アコースティックギター部へお越しください。



青嵐祭に参加して

青嵐祭のライブが、1年間の集大成となっています。それは、私がこの大学に入る前からです。その伝統あるライブを開催できたこと、出演できたことを非常に喜ばしく思います。また、訪れてくださったお客様に、ギターを弾くことや歌うことの楽しさ、そして様々な人たちが集まって一つのライブを作ることの素晴らしさをお見せすることができたのではと思います。



経済学部 経済学科3年
部長 武田 直之さん

ひびきのキャンパス 茶道サークル 茶chaなでしこ

サークルについて

私達茶道サークルは1年生5名、3年生1名、4年生10名、院生2名の計18名で活動しています。練習は、毎週火曜日、午後5時からです。第1・3火曜日には、表千家師範でいらっしゃる須田先生をお招きし、稽古に励んでいます。昨年6月、建築デザイン学科 福田展淳教授のプロジェクトにより、学生手作りの茶室が完成しました。立礼ではなく、畳の上で稽古ができるようになって、稽古にも一層熱が入ります。



響嵐祭に参加して

今回、茶室の改装が終わり、和室での本格的な茶会を催したいと思い、響嵐祭に参加しました。準備は慌ただしかったものの、当日は皆さん落ち着いてお点前ができました。最初は、流れがスムーズではなかったのですが、最後には手際よく対応できるようになりました。茶会の告知をあまり行っていなかったのに、多くのお客様に来ていただけて嬉しかったです。これからもこの茶室で、趣きのある茶会の伝統を作っていきたいと思っています。

国際環境工学部 情報メディア工学科4年
部長 山口 沙樹さん



北九州グローバルパイオニア 海外インターンシップ体験談 Kitakyushu Global Pioneers

—今夏、北九大生142名が世界各地で留学・研修等にチャレンジしました—

本学では、文部科学省の補助事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(旧グローバル人材育成推進事業)」の一環として、昨年度より学生が海外でビジネスの現場を学ぶ海外インターンシップを実施しています。今年度は、アジア・欧州・米国の各地の日系企業、海外企業、政府系の財団法人等(14都市、34社・団体)に1~3年生の計51名が参加しました。

平成26年度海外インターンシップ(18プログラム 51名)の概要

企業・団体名等	研修期間	人数	国名	都市・地域	企業・団体名等	研修期間	人数	国名	都市・地域
1 日本国際協力システム	1週間	2	ラオス	ビエンチャン	10 日本旅行シンガポール	1週間	2	シンガポール	シンガポール
2 ロートアジアハーブ	3週間	4	タイ	バンコク	11 ハイフォン市外務局	1週間	3	ベトナム	ハイフォン
3 セントラル不動産	2週間	1	マレーシア	ジョホールバル	12 JTBヨーロッパ	2週間	2	イギリス	ロンドン
4 スピリッツ	2週間	2	中国	上海	13 JTBトラベルプラザヨーロッパ	2週間	2	オランダ	アムステルダム
5 中国セシール	2週間	2			14 JTBフランス	2週間	2	フランス	パリ
6 韓国インターンシップ	1週間	7	韓国	釜山	15 JTBスペイン	2週間	1	スペイン	バルセロナ
7 シンガポール視察型	1週間	7	シンガポール	シンガポール	16 欧州安川(安川電機)	2週間	4	ドイツ	フランクフルトおよびミュンヘン
8 H.I.S.シンガポール	4週間	1			17 ライトハウス社 ^{※注1}	4週間	5	アメリカ	ロサンゼルス
9 TOTOアジア・オセアニア	1週間	1			18 インターンスタイル社 ^{※注1}	4週間	3		ニューヨーク

※注1) インターンシップ専門の斡旋会社を經由して実施。

就業機関 JTB トラベルプラザヨーロッパ
in オランダ



**自分と向き合い
自分を見つめ直す
貴重な機会に。**

地域創生学群 地域創生学類3年
与那嶺 あゆみさん

私は高校生の時にベルギーに留学し、外国語によるコミュニケーションや異文化交流を体験しました。そして、就職活動を目前に控える大学3年生というタイミングを迎えた時、今度は「海外で働くことはどうなのか?」ということを知っておきたかったので、今回海外インターンシップへの参加を希望しました。

数ある就業先の中から私はオランダのJTBトラベルプラザヨーロッパでの就業を選びました。理由は、高校時代の留学先がベルギーのオランダ語圏の都市だったので、その時に覚えたオランダ語会話の能力を生かせることができると考えたからです。

JTBトラベルプラザヨーロッパでの2週間の実習内容はインバウンド旅行の企画です。社員の方々は常に本気で向き合ってくださいました。特に「企画づくりを進めながらも、常に

“なぜ?”を繰り返そう! スタート時点の目的を見失わないようにしよう!”という言葉が強く印象に残っています。今後、私が何をやっていくにしても、「なぜそのような気持ちが生じたのか?」「なぜそういう方向性で進めようとしたのか?」ということをしっかり確認しながら物事を進めていくことが大切なのだと学びました。

今回の海外インターンシップを通じて、現地の方々に私の考えの甘さも指摘していただき、海外で働くことの厳しさを実感しました。また、海外で働くためには様々なプロセスが必要であることを知りました。これまで私は、ただ漠然とヨーロッパで働くことを夢見ていましたが、海外インターンシップにより、現実を知り、目標を実現するために必要なプロセスや課題を具体的にイメージできるようになりました。新しい世界を見ることはとても大切なことです。自分と向き合い自分を見つめ直すことができる良い機会なので、みなさんもぜひチャレンジしてほしいと思います。



就業機関 TOTO ASIA OCEANIA PTE.LTD.
in シンガポール



**メリットがいっぱいの
GEPを積極的に
利用しよう。**

経済学部 経営情報学科2年
葉山 春風さん

私は将来の夢として「海外企業で働きたい」という考えがあり、国際的に活動できる語学力や実践力を身につけるために副専攻Global Education Program(GEP)を履修しました。インターンシップへの参加はGEPの修了要件の一つ。数ある海外インターンシップ受け入れ先企業の中から私はシンガポールのTOTO ASIA OCEANIA PTE.LTD.を選びました。同社は衛生陶器メーカーTOTOのアジア・オセアニア展開のハブとして重要な役割を果たしており、そのビジネス現場を体験することは自分にとって大きなプラスとなると考えたからです。

主な業務は輸出入に関連した書類の作成や会計ソフトによる計算など、実践的なものでした。また、現地プロジェクトの営業活動に同行し、競合他社の製品・サービスと比較してTOTO製品の優れている点をお客様にプレゼンテーションするという経験もさせていただきました。

した。もちろん、現地でのコミュニケーションはすべて英語で行いました。1週間という短い期間ではありましたが、毎日たくさんの刺激を受けられたことが、私にとっては大変有意義で貴重なことでした。この経験をこれからの大学生活や就職活動に生かしたいと思っています。

私にとって人生初の海外経験ということで、語学に対しては不安がありました。しかし、GEPの担当教員の方は夜遅くまで指導してくださり、会話力のレベルアップを図った上で海外インターンシップに送り出してくれました。おかげで現地では、それなりに英語を話すことができたと思っています。GEPの授業は6限目、7限目といった夜間の時間帯科目が中心となるため、履修する上ではかなりの努力が必要です。しかし、GEPを履修することで新たな費用をかけることなく英会話を学ぶことができます。また、留学の際の補助金制度など経済的支援も受けることができます。そんなたくさんのメリットがあるGEPを、みなさんも積極的に利用してほしいと思います。



本学の学生と一緒に学んでみませんか? ~科目等履修生制度のご紹介~

本学学生以外の方が学生と共に学部(群)・大学院の授業を履修することができる制度です。履修科目の試験に合格した場合、単位を修得することができます。

- 大学の授業を1科目から受講することができます。
- 例えばこんな方...様々な教養を身につけたい方、最新の研究内容を知りたい方、大学の授業をもう一度受講してみたい方 など

履修資格

学部(群)	高等学校を卒業した方又は高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方。
大学院	大学を卒業した方又は大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方。

履修期間

1学期	4~9月	1科目 90分× 15回
2学期	10~3月	

授業料

1単位につき	14,800円	科目により単位数が異なります。単位数はシラバスで確認することができます。(シラバスはHPや窓口で閲覧可能です。)
--------	---------	--

履修可能科目

1学期につき	20単位以内	ただし、一部受講できない科目があります。また、本学学生の受講がない科目は開講されません。 ※開講される科目については、募集要項等の配付時期に窓口にてご確認ください。
--------	--------	---

申込み

- ▶学期毎に申込みを受け付けます。
- ▶通常、1学期は4月上旬、2学期は9月上旬に募集を行います。
- ▶詳細は、窓口で配付する募集要項等をご確認ください。配付時期については、本学ホームページ及び市政だよりでお知らせします。

お問い合わせ先


北方キャンパス 学務第一課 (093) 964-4036
ひびきのキャンパス 学務第二課 (093) 695-3330

第14回産学連携フェアに出展しました!!

平成26年10月30日(木)・31日(金)の2日間、北九州学術研究都市で開催された「第14回産学連携フェア」に国際環境工学部の教員が参加しました。環境技術研究所は特別企画展示やセミナーを開催しました。

特別企画展示 環境技術研究所 ~社会に喜ばれる研究を目指して~ 研究事例紹介

出展内容 企業との共同研究成果をパネル・模型展示で紹介しました。また、「竹粉ファイバー食品・竹粉パン」の試食、血圧測定を可視化するデモンストレーション、その他液検知・液種別センサーの展示等を行いました。



竹粉パンの試食では、竹の味が思ったよりしなやかでおいしいとご意見が多かったです。

セミナー企画 それぞれの会場でセミナーを行いました。

10月30日(木)

- 会場:北九州学術研究都市 会議場
- 時間:15:30~17:30
- 主催:北九州市立大学環境技術研究所バイオメディカル材料開発センター
- 参加者人数:151名

ライフィノベーション:多糖グルカンの今と未来
—漢方薬から次世代の医薬品技術DDSまで—

バイオメディカル材料開発センター長 櫻井和朗教授の研究グループは機能性核酸と天然物質である多糖グルカンがバインドして複合体を形成することを世界で初めて発見し、その技術を次世代の医薬品技術DDS(ドロックデリバリーシステム)に応用して目覚ましい成果をあげています。本セミナーでは、日常の食品に含まれている多糖と健康の関係から、安全で安心な医薬品として注目されているナノサイズの薬物運搬粒子を運ぶ技術(DDS)とその応用について、櫻井教授をはじめ、西原達次先生(九州歯科大学理事・学長)ほか3名の講師が、分かり易く概説しました。

講演「βグルカンと核酸がつくる不思議な3重らせんの発見」
国際環境工学部 環境生命工学科
櫻井 和朗 教授




10月31日(金)

- 会場:北九州学術研究都市 体育館
- 時間:11:30~12:00
- 主催:北九州市立大学環境技術研究所
- 参加者人数:27名

農作物の潜在機能活用による食品開発

量の原材料として知られている「草」と、放置竹林問題で新たな用途が望まれている北九州合馬の「竹」を機能性食品として活用する研究について紹介しました。

講演「農作物の潜在機能活用による食品開発」
国際環境工学部 環境生命工学科
森田 洋 教授



環境技術研究所機関誌「環境」第3号には講演した森田先生の記事も掲載しており、セミナー参加者の方に配付しました。セミナー終了後には、聴講者の方から質問等がありました。



各分野の専門の先生方が、分かり易く概説しました。